

令和5年度 横浜市立四季の森小学校 学校だより

このまちに生き、共に輝く子



# 四季の森



6月号

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shikinomori/>

## オオキンケイギクを見かけて

学校長 森脇 信行



5 街区前のオオキンケイギク

あじさいが美しく彩りを添える季節となりました。5 月は地域訪問、授業参観にご参加・ご協力いただき、感謝申し上げます。

先日学区内を歩いているときオオキンケイギクの群生を見かけました。数年前まではあまり見かけない植物でした。きれいな黄色い花を歩道に沿って、いっぱい咲かせている景色に驚きを感じました。

オオキンケイギクは、北アメリカを原産とする、外来種の多年性植物です。根がよく発達し、荒地

でもよく生育し、そのため冬季のグランドカバー効果が高いことや花枯れ後も見た目が汚くないということで、道路わきののり面などで緑化のために利用されていました。しかし、強健かつ繁殖力が強すぎるために、在来生態系を駆逐させてしまう性質をもっているという理由で、2006年に特定外来生物、その後2015年に緊急対策外来種に指定され、移植や栽培が禁止されました。特定外来生物と聞くと、ヒアリやセアカコケグモのように毒があり、貨物に紛れ勝手にやってきたイメージがあります。しかし、オオキンケイギク、ザリガニ、アカミミガメ（ミドリガメ）、アライグマのように人が生活を豊かにするために、持ち込んだ生物もたくさんあります。（ザリガニやアカミミガメなどは特例で自然界に離さなければ飼育が認められています。）人々の都合で持ち込まれ、野生化し管理できなくなると、特定外来生物として疎まれています。私は、こういった生物のことを考えるとき、戦争の武器問題や環境問題など人間の他の活動にも似たような部分があるように思えてなりません。

私たちは未来を生きる子どもたちのために、常に持続可能な責任ある選択をしていかなければいけません。しかし、多様化、複雑化した現代社会の中では、正しいことが一つでない難しさを感じます。だからこそ、子どもたちには、『自分で考え、正しいと思うことを選択し、持続可能な未来を創造していく態度』が育ってほしいと願います。

